

## 指名競争入札の試行について

### 1. これまでの経緯

平成18年12月に決定された「入札等制度改革に係る基本方針」において、「すべての公共工事において指名競争入札を廃止し、条件付一般競争入札を導入する」とされており、平成19年4月から予定価格3千万円以上の工事について、10月からは、予定価格250万円を超える工事について条件付一般競争を導入したところである。

### 2. 指名競争入札の試行の理由

指名競争入札については、県議会の3つの会派からその導入についての要望を受けている。

さらには、条件付一般競争入札の導入により、透明性、競争性、公平性が確保される一方で、低価格入札が増加し、最低制限価格をねらった入札が発生しているなどのほか、特に少額工事（1000万円未満）においては、以下のような事例も発生している。

地域住民から早期着工要望が出されていた段差解消、側溝の改修など、地域密着型の工事において、工事が小規模であるにもかかわらず手続期間が長いために、苦情が寄せられるケースが発生している。

- ・ 条件付一般競争入札の発注までの手続期間：約35日
- ・ 指名競争入札の発注までの手続期間：約2週間

応札者が無しや入札参加者が1者といったケースが発生している。

その理由としては、業者からは、

- ・ 少額な工事で、しかも低価格でないと受注できないような現状では、たとえ受注したとしても利益が出ない。
  - ・ 同じ現場代理人を配置するのであれば 高額な工事を受注したい。
- などを理由として挙げている。

指名競争入札については、談合防止の観点から廃止したところであるが、以上のような状況を踏まえ、少額な工事については、談合防止のための対策を講じるなど、指名競争入札のデメリットを極力抑制した上で指名競争入札のメリットの部分を活かした制度運用ができないか等について、検証を行いたい。

### 3．試行時期について

平成20年4月からとする。

試行期間については1年とする。

### 4．対象工事について

指名競争入札の試行に際しては、農林水産部、土木部が発注する予定価格1千万円未満(全国知事会のガイドライン)の工事のうち、概ね300件程度を抽出する。

### 5．談合防止のための方策

指名競争入札の試行に際しては、今まで以上の談合防止対策を講じる必要があることから、以下のような方策を講じることとする。

指名業者選定の公平性、透明性をより高めるための措置

現在、発注機関が実施している指名業者選定は、条件付一般競争入札と同様に出納局(出納室)が事務局となっている地方入札参加条件等審査委員会において審査を行う。

指名業者名の類推を防止する措置

指名業者の推測を困難にするため、指名業者数を「9名以上」とし、指名の都度、ランダムに設定するなどの措置を行う。

指名業者名の漏洩防止の措置

設計図書の閲覧時間指定など、業者が接触をさせない工夫を継続して行うほか、指名業者名は非公表であることを改めて周知するとともに、指名業者を探ろうとする不正な行為に対するペナルティを新設する。

見積書の提出

適正な積算を確認するため、条件付一般競争入札と同様に見積書の提出を義務づける。

入札辞退の取扱い

業者の不要な負担増に配慮して入札辞退も可とする旨を指名通知と併せて周知する。(参加意欲が薄い業者が見積等の作業を他社に依存する行動を起こすことが談合につながる可能性がある。)

### 6．入札結果の公表について

透明性を確保するため、工事毎に指名業者選定の具体的な理由をホームページにより公表する。

## 「入札手続きの長期化」などに関する事例 (県北建設事務所の例)

平成 19 年 12 月調査

No	工事名	発注種別	起工月日	契約月日	予定価格	当初請負金額	落札率	工事内容	苦情等の内容
1	やさしい道づくり推進工事	一般土木	H19.4.26	H19.6.12	36,792,000	28,875,000	78.5%	歩道工L=265m	側溝の蓋が破損 (穴が開き)し歩行に支障あり 町内会長を始め歩行者 (学生、地域住民) から苦情が寄せられていたが、発注に 40 日近くかかり危険な状態が続いた。
2	生活基盤緊急改善工事	一般土木	H19.7.25	H19.8.28	3,559,500	2,614,500	73.5%	拡幅工L=51m	道路の幅員が狭く、車の交差が出来ず道路利用者より早期着手の要望を受けたが発注に時間がかかり苦情を寄せられた。
3	舗装補修工事	舗装	H19.10.5	H19.11.8	8,662,500	6,510,000	75.2%	切削オーバーレイ L=380m	道路沿線に住む住民から車の走行時 家の振動があり、段差等の解消を求められていたが、発注に 1ヶ月以上期間を要し、苦情を寄せられた。
4	やさしい道づくり推進工事	一般土木	H19.10.12	H19.11.28	11,455,500	9,450,000	82.5%	歩道工L=203m	側溝の蓋が破損 (穴が開き)し歩行に支障あり 町内会長を始め歩行者 (学生、地域住民) から苦情が寄せられていたが発注に 40 日近くかかり危険な状態が続いた。
5	交通安全施設等整備工事	舗装	H19.10.26	H19.11.29	12,589,500	10,500,000	83.4%	交差点改良L=176m	道路利用者 (バス、タクシー、一般ドライバー) から渋滞が激しいため、早期の交差点形状の改修を求められているが、発注に1ヶ月以上期間を要し、苦情を寄せられた。
6	舗装補修工事	舗装	H19.10.29	H19.11.29	18,291,000	13,029,450	71.2%	オーバーレイL=650m	道路沿線に住む地域住民から車の走行時 家の振動があり、舗装段差等の解消を求められていたが、発注に1ヶ月以上期間を要し、苦情を寄せられた。
7	河川改良工事	一般土木	H19.9.10	H19.10.9	25,357,500	19,026,000	75.0%	護岸工L=200m	河川の水により既設護岸が崩落し、隣接する公園の利用者より早期改修が求められていたが、発注に1ヶ月以上期間を要し、安全に遊べないとの苦情を寄せられた。
8	道路再生工事	一般土木	H19.9.18	H19.10.16	4,399,500	3,402,000	77.3%	冠水対策L=30.8m	台風や大雨時に道路が冠水し交通止めを余儀なくされる箇所であり、町内会長を始め住民から早期改修を求められていたが、発注に1ヶ月以上期間を要し、苦情を寄せられた。
9	河川災害復旧工事	一般土木	H19.10.26	H19.11.29	6,111,000	5,562,500	91.0%	護岸工L=30m	台風による災害箇所であり、隣接する地権者から新たに崩落の恐れがあることから早期復旧を求められていたが、発注に1ヶ月以上期間を要し、苦情を寄せられた。
10	災害防除 (県単) 工事	一般土木	H19.11.6	H19.12.6	13,125,000	12,600,000	96.0%	補強土壁工L=20m	道路が大雨により崩落し通行止めをしたため、キノコ取りや山形方面への旅行者より、早期改修が求められてたが、発注に1ヶ月以上期間を要し、苦情を寄せられた。
11	生活基盤緊急改善工事	舗装	H19.11.1	H19.12.6	4,672,500	4,462,500	95.5%	バスベイA = 111m 2	道路沿線に住む住民から車の走行時 家の振動があり、段差等の解消を求められていたが、発注に 1ヶ月以上期間を要し、苦情を寄せられた。

「入札手続きの長期化」などに関する実例 (県北建設事務所の例)

平成19年12月調査

No	工事名	発注種別	起工月日	契約月日	予定価格	当初請負金額	落札率	工事内容	苦情等の内容
12	河川災害復旧工事	一般土木	H19.10.31	H19.12.6	5,428,500	4,830,000	89.0%	護岸工L=32m	台風による災害箇所であるが、堤防の市道が生活道路の為道路利用者より早期復旧を求められていたが、発注に1ヶ月以上期間を要し、苦情を寄せられた。(迂回路が狭いため)
13	河川災害復旧工事	一般土木	H19.11.1	H19.12.6	4,084,500	3,087,000	75.6%	護岸工L=11m	台風による災害箇所、農地への連絡道路であるため農家の人達から早期復旧を求められていたが、発注に1ヶ月以上の期間を要し、苦情を寄せられた。
14	河川災害復旧工事	一般土木	H19.11.1	H19.12.6	5,050,500	4,315,500	85.4%	護岸工L=28m	台風による災害箇所、農地への連絡道路であるため農家の人達から早期復旧を求められていたが、発注に1ヶ月以上の期間を要し、苦情を寄せられた。
15	生活基盤緊急改善工事	舗装	H19.10.26	H19.12.6	4,893,000	4,620,000	94.4%	バスベイA=90m <sup>2</sup>	道路沿線に住む地域住民から車の走行時 家の振動があり、舗装段差等の解消を求められていたが、発注に1ヶ月以上期間を要し、苦情を寄せられた。